

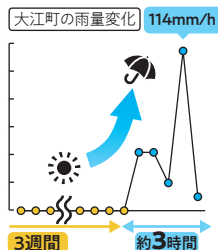
急襲型豪雨って
なんだらう？

急に降ってくる大雨（急襲型豪雨）に気をつけて！

突然の大雨がふる！

急にバケツを引っくり返したような、また、あたりが白く見えるような大雨になることがあります。それまでに雨が少なかった時でも要注意！

京都府・気象庁のデータよりグラフを作成



大きな川ではなく「裏山」が怖い！

ふだん気にしている大きな川ではなく、家のうしろの山や小さな谷から水や土砂が流れてくる可能性があります。

逃げる時間がない！

「避難しよう」と思った時には、もう水や土砂が近くまで来ていることがあります。近くの安全な場所（セカンドベスト）も確認しておきましょう。



動画でチェック ▶



「2時間で状況が一変して、音もなく土砂が迫り、気づいたときには車庫が流されていました。ハザードマップには載っていない場所からも土砂が流れてくることにも注意しないといけないと感じました。」



大江町南有路地区住民
藤澤 弘幸さん

2023年8月 福知山・綾部・舞鶴を襲った台風

- ・「雨の中でおぼれる」ような激しい降り方の雨
- ・3週間も雨が降らずカラカラのあとに急な大雨
- ・大きな川（由良川）ではなく「裏山」や「谷」からの水と土砂
- ・夜中から朝方にかけて雨が降り、避難がとても難しかった

どんな被害があった？

- ・ほったらかしの竹やぶや段々畑が崩れて、家屋の近くにまで土砂が流れた
- ・ハザードマップで「色が塗られていなかった」場所でも被害が出た
- ・避難所に向かう時間がなく、自宅や逃げる途中で災害を経験した人が多かった



論文共著者
京都府立大学非常勤講師
福知山市観音寺
小滝 篤夫さん

リーフレット作成の思い

2023年8月、福知山市・綾部市北部の土砂災害の現場を調査して、いままでとは様相が違いました。山崩れはあまり見られなかったのに、雨が多くて谷の土砂が流されたんだと思いました。そして、なんと3週間も雨がなかったあと、夜9時を過ぎてから突然降りだした豪雨に急襲されて、避難する時間もなく発生した災害でした。この新たな形の災害を引き起こした降雨を「急襲型豪雨」と名付けて、その特徴と教訓をまとめ、今後の防災に生かしたい、という願いをこのリーフレットに込めました。



大江町夢原自治会長
仁張 衛さん

被災地域からのメッセージ

台風第7号は「まさか」の災害でした。由良川ばかり見とったんですが、「裏から」土砂が来たんす。自分も10年経てば防災活動が難しくなる。後世に教訓を残すために、マイマップに土砂崩れの記録を入れたり、災害現場の跡に石碑を建てるなど村で取り組んでいます。

お問合せ



お問合せフォームはこちら
福知山公立大学 地域防災研究センター
TEL: 0773-24-7100

参考になるハザード情報

重ねるハザードマップ



気象庁ホームページ



気象庁「キキクル」



本リーフレットはJSPS科研費JP23K17568、JP24K00327の助成を受けたものです。



急襲型豪雨・土砂災害に 備えよう

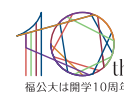


令和5年台風第7号災害から学ぶ
地域でできるチェックリスト



発行主体: 福知山公立大学 地域防災研究センター(2025年8月)

共著者: 地域住民有志(福知山市民、綾部市民)



地域の備えを強くする！
急襲型豪雨への3つの備え

放置竹林に備える

地図だけではわからないことも？ → **実際に歩いて確かめよう**



また歩きでマイマップを見直そう

台風第7号のとき、地図(ハザードマップ)で「危ない」とされている場所以外でも土砂が流れた場所がありました。蓼原地区では、地域の人たちが実際に被害があった場所を見てまわりながら、自分たちのマイマップ(ハザードマップ)にチェックをいれて更新しています！



「想定外」の場所もあるという気づきを共有することが大切です。

土砂災害に備える

安全な場所に逃げられない？ → **セカンドベストへの避難訓練も**



セカンドベスト: 指定避難所以外の近所の安全な場所

2階への避難(垂直避難)訓練

観音寺地区では「2階へ逃げる」などの現実的な避難を地域ぐるみで体験します。セカンドベスト先への避難訓練も大切です。



普段参加が難しい方も
家での訓練なら参加できるかも。
振り返りアンケートも有効！

避難に備える

避難情報が届かない人にはどう伝える？ → **誰にでも届く工夫が大事**

地域の防災オープンチャット

大江町蓼原地域ではグループで連絡を取り合える仕組みをLINEで作成しました。「避難の準備」「避難した」などの情報を簡単に共有できます。



避難訓練でも活用してみよう。
放送や電話に加えて、紙の配布や
声かけもあわせて工夫！

私の防災ノート

地域の人と一緒に見直そう！

☒ チェックをつけて身の回りの防災を再確認！

放置竹林

竹が生えているから
地面が強いとはかぎらない

- ☐ 家の近くに、整備されていない竹林がある
- ☐ 竹がびっしり生えていて、枯れた竹がたくさん倒れている
- ☐ 豪雨のあとは竹が倒れたり、傾いたりしている
- ☐ 谷を登ると少しへこんだ斜面に整備されていない竹林がある

避難行動

複数の避難先(セカンドベスト)も考えておこう

- ☐ 地域で避難時の連絡方法を決めている(声かけ・LINEなど)
- ☐ 暗い時間の避難も想定し、家族や地域で安全な場所や2階を確認している
- ☐ 指定場所以外にも、近くの安全な避難先を地域で決めている
- ☐ 2階に逃げる(垂直避難)訓練をしたことがある
- ☐ 雨が強いときの避難判断の目安を知っている(50mm/h以上の赤色レーダーはすでに危険)
- ☐ 豪雨時、川以外に裏山や谷からの土砂も注意している

土砂災害

川だけではなく、山の危ないところにも目を向けよう

- ☐ 自宅や周囲が「土砂災害(特別)警戒区域」に指定されていないか
- ☐ 家の近くに急な斜面がある(手を使って登らないといけなような斜面は危ない!)
- ☐ 家の近くに谷筋の出口がある
- ☐ 崩れた跡や看板、災害の記録がある場所をしっかりと覚えている
- ☐ 盛り土・切土などもとの地形を変えた土地がある
- ☐ 過去に土砂が流れた場所を覚えておく(地図にない被害も)

我が家の情報

連絡先(家族): _____

かかりつけ病院: _____

☐ お薬手帳の準備

地域の情報

避難場所: _____

セカンドベスト: _____
(近くの安全な避難先)

☐ 地域の避難訓練への参加